

みさと 市議会だより



No. 173

2018年5月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の意思決定機関

さあ、はじめよう！ あすへのチャレンジ！！



主な内容 平成30年3月定例会

- ・ 論点「国民健康保険税条例の一部を改正する条例」 ・ 2
- ・ 平成30年度予算の審査概要 ・ 4
- ・ 市政に対する一般質問 ・ 8
- ・ 3月定例会提出議案とその結果 ・ 14
- ・ 国・政府に要望 ・ 15
- ・ 読者の声、傍聴しませんか ・ 16

パラスポーツ「車いすバスケット」を体験!!
あすチャレ！スクール（北中学校）

が国保を支えるチカラ

論点



3月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

国民健康保険の制度改正に 関する議案を審議

3月定例会には、市長から「三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」など35議案が提出され、原案どおり可決しました。

3月定例会
3/1~23

議案第10号 三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

〈内容〉

国民健康保険の財政主体が

埼玉県となることにあわせて、税額・税率を改正します。賦課方式では医療分の平等割・資産割を廃止し、均等割・所得割について見直しを行います。また、低所得者世帯に対する応益割の軽減割合を拡大、賦課限度額の引き上げを行います。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 新しい制度のもと、全体として保険税負担はどうなるのか。

答 今回の改正は全体の保険税収入がほぼ現状並みとなるよう設定した。その結果、少数人世帯を中心に全体の約6割の世帯が減額となる見込みである。

問 平成30年度にかぎり経過措置を独自に設けたというところだが、減免対象を改正前の規定による税額の1・2倍を超える額とした経緯は。

答 安定的な保険税収入の維持を前提に、大部分は一定の増額範囲におさまるようにしている。ただし例外的に増額幅が大きくなるケースについては、税収全体に与える影響などを考慮したうえ、減免の対象範囲を設定している。

問 賦課方式が2方式になることなどにより、増額となる



国保マスコット 健康まもるくん

●制度改正後の 三郷市と埼玉県の役割分担

三郷市の役割	<ul style="list-style-type: none"> ●被保険者証（保険証）の発行などの資格管理 ●標準保険税率（※）を参考に保険税率を決定、賦課・徴収 ●保険給付の決定、支給 ●保健事業の実施など
埼玉県の役割	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村ごとの <ul style="list-style-type: none"> ・国保事業費納付金を決定 ・標準保険税率（※）を算定、公表 ●保険給付等必要額を市に全額交付など

※国保事業費納付金を納めるために必要であると県が示す保険税率

「健康で長生き」



シルバー元気塾特別講座

保険税のおもな改正点

税額・税率の
改正4方式から
2方式へ

◆医療分の平等割・資産割を廃止し、均等割・所得割について下表の通り改正します。

		現行		改正
医療分	均等割	13,000円	➔	28,000円
	平等割	20,000円		廃止
	所得割	6.6%		6.9%
	資産割	18.0%		廃止
支援分	均等割	6,000円		8,000円
	所得割	2.0%		1.9%
介護分	均等割	10,000円		10,000円
	所得割	1.2%		1.6%

※平成30年度に限り、改正前の規定による算出税額と比較して1.2倍を超える額を減免

る世帯は全体の約4割ということである。とくに夫婦と子ども2人の4人家族のモデルケースで、保険税が約17%も増額になるのは問題ではないか。

答 2方式化の結果として、平等割廃止により少人数世帯は負担が減る一方、多人数世帯ほど負担が大きくなる傾向がある。賦課方式については、県の運営方針により2方式が標準とされており、近隣の状況にあわせて見直しをした。

問 今までは一般会計からの法定外繰入金を活用し、保険税の急激な増加を抑えてきたが、制度改正による影響は。

答 法定外繰入金は、埼玉県
の国保運営方針において、原則6年間で削減すべきという方針が示されている。今後はこの方針をふまえ、財政状況を見ながら対応していく。

問 法定外繰入金に頼らず、制度を維持するために、どのような方策を考えているのか。

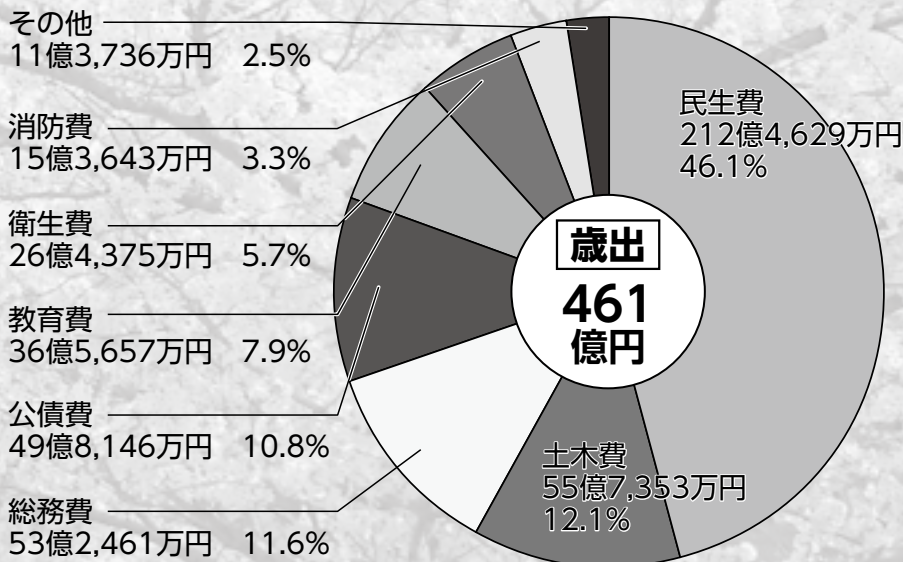
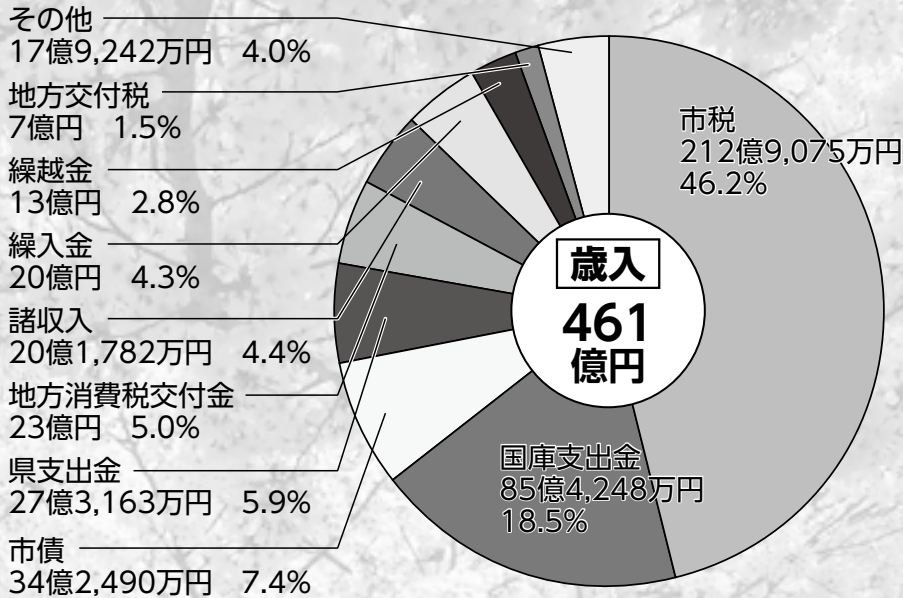
答 国保財政を維持するため、支出の大部分を占めている医療費の適正化が重要である。とくに糖尿病の重症化予防などの医療費適正化対策に引き続き取り組んでいく。また、シルバー元気塾や介護予防事業とも連携し、健康寿命の延伸に努めていきたい。

委員会の討論では「子ども
のいる世帯が負担増となることや、法定外繰入が廃止されれば今以上に国保税が上がる懸念があり反対である」などがありました。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、討論・採決の結果、賛成多数で可決しました。

平成30年度一般会計予算を可決

議会が市の予算を審査



3月定例会では、平成30年度の三郷市のまちづくりの基本となる予算を審議し、可決しました。一般会計予算は、前年度に比べ1億9000万円（0.4%）の増額となる、461億円で11年連続で前年度を上回る予算となります。

議案をくわしく審査するために開かれた、総務・市民福祉・文教経済・建設水道の各常任委員会での平成30年度予算に関する質疑・討論の要旨をお知らせします。

※3月定例会初日に市長から施政方針の表明がありました。



木津雅晟 市長

平成30年度
施政方針

きらりとひかる田園都市みさと
～3つの最重点施策事業～

第4次三郷市総合計画では、平成32年度の計画人口を14万人と推計しておりましたが、市制施行45周年という節目の年である昨年、計画より早く人口14万人に到達することができました。

平成30年度につきましては、『地域拠点整備』、『スポーツを活かしたまちづくり』、『災害に強いまちづくり』の3つを最重点施策事業にするとともに、『赤ちゃんから高齢者までの健やか支援』、『学びと活躍の支援』、『地域産業の振興』、『都市基盤整備』の4つを重点施策事業として位置づけております。

今後におきましても、市民ニーズを的確に捉え、本市の魅力が更に向上するよう、各種施策を推進してまいります。

歳入区分	説明
市税	市民税、固定資産税など
国庫支出金	特定の事業に対して国から交付
市債	市が長期にわたって借りるお金
県支出金	特定の事業に対して県から交付
地方消費税交付金	県の地方消費税収入の中から交付
諸収入	学校給食納付金、雑入など
繰入金	基金からの繰り入れ
繰越金	前年度一般会計からの繰り越し
地方交付税	財政状況に応じて国から交付
その他	分担金及び負担金、使用料及び手数料など

歳出区分	説明
民生費	高齢者、児童、障がい者などの福祉事業費など
土木費	道路や河川、公園整備などに使うお金
総務費	防災や防犯、マイナンバーカード交付、市税の課税徴収など
公債費	市債の返済金
教育費	学校教育費、「日本一の読書のまち」推進事業など
衛生費	ゴミの収集や予防接種など
消防費	消火・救急活動などに使うお金
その他	議会費、商工費、農林水産業費など

◆平成30年度の主な事業（施政方針より）◆

- (仮称)三郷流山橋の早期整備に向けた取り組み
- 三郷料金所スマートIC整備事業(車種拡大、フルインター化)
- 南部地域拠点整備事業(南部地域拠点整備の検討業務)
- 多世代交流複合施設整備事業(北公民館及び北児童館の瑞沼市民センターへの仮移転及びみさと団地公共施設再編検討)
- 陸上競技場の活用事業
- 国際化に向けた各種推進事業(児童生徒の英語力育成など)
- 外国人誘客事業(英語版観光マップの作成)
- 防災対策上必要な橋りょうの補修・架替事業(橋りょう長寿命化)
- 建築物の耐震化事業(市役所本庁舎の耐震性能向上及び市内住宅の耐震化促進)
- 妊娠期から子育て期にわたるサポート拠点事業(子育て支援ステーション)
- 日本一の読書のまち三郷電子図書館運営事業
(三郷市電子図書館サービスと推進団体等活動サポート)



みる・よむ・きくバリアフリーコーナーを設置(早稲田図書館)

◆常任委員会の審査概要（一般会計）

三郷南部地域の拠点等整備について検討

《総務常任委員会》

歳入では、固定資産税は評価替えの年度になり、土地・家屋分は評価額減価の影響があるが、評価替えのない償却資産分は増額を見込んでいます。歳出では、放水路以南の地域拠点等整備を進めるため、具体的に導入する機能や整備方法、官民連携の手法などの検討を行う。

庁舎管理事業では、本庁舎の耐震補強工事のほか、照明LED化、トイレ手洗い自動水栓化、消防施設の修繕などを行う。

消防団維持事業では、火災現場等で団員の連絡用として、省電力トランシーバーを各班に2台の計48台を配付するとのことでした。そのほか

消防訓練施設整備事業などについて審議しました。

討論として、「地方創生交付金を活用して住宅リフォーム補助制度を作るべき（反対）」などがありました。

地域密着型サービス事業所を公募で選定

《市民福祉常任委員会》

公的介護施設等整備費補助事業について、4月中旬に公募に向けた事業者説明会を行う。



子育て支援がさらに充実

事業者が施設にふさわしい場所を探して応募する。

病院群輪番制運営事業および小児救急医療支援事業は、6市1町の輪番制であり、担当は10年に1回まわってくる。前年度より約2000万円増額となっているのは、新年度は三郷市が担当の市であり、それぞれの病院に対し、一時立て替え払いをするためである。後ほど他の市町から立て替えた分が返還される。

保育所等整備推進事業について、保育施設への平成30年4月入所希望のかたの申し込みは、昨年より108名の増の881名であった。現段階での入所決定者数は、昨年よ

り61名増の423名であるとのことでした。

討論として、「18歳までの子ども医療費や介護利用料の補助事業の拡充などが見送りになっていることから反対する」などがありました。

空き家対策でシルバー人材センターと協定を締結

《文教経済常任委員会》

防犯のまちづくり推進事業では、空き家対策計画を策定中である。シルバー人材センターと協定を締結し、4月から見守りなどの業務が行われ

る予定である。

小中学校オリンピック・パラリンピック対応英語力育成事業の英検受験補助は、平成30年度は3校で実施し今後他校へも広げていきたい。また、英語教育については教員とALTの研修や中学校英語科担当教員による示範授業などを通して指導力の向上を図っていくとのことでした。そのほか、ふれあい型農業推進事業、親の学習推進事業などについて審議しました。

討論として、「地元の活性化を図るためには中小企業をもっと応援すべきである（反対）」などがありました。

都市公園の面積が10ヘクタール増

《建設水道常任委員会》

都市公園等維持管理事業は、前年度比で約1億円増えている。これは半田公園や陸上競技場公園、インター南部地区の近隣公園が新たに都市公園として位置づけられ、面積が



シルバー人材センターとの調印式



平成30年度

特別会計予算

5つの特別会計予算は、各常任委員会で審査し、本会議において可決しました。

国民健康保険

歳入歳出 158億9,229万円

【健康診査・人間ドックの受診率向上へ】

審査では、人間ドック受診費用助成事業は、480名分を見込んでいます。また、保養所事業については380名分を見込んでいたことでした。

討論として、「国保の県単位化にあわせて国保税の値上げが条例において提案され、保険税率の見直しに伴う予算となっていることや、資格者証の発行が継続されていることなどから反対する」などがありました。

介護保険

歳入歳出 85億6,753万円

【3割負担が新たに設定されます】

審査では、今回の改正で負担割合が2割のかたのうち、所得が高いかたは3割となるが、想定される人数は313名であることでした。

討論として、「介護サービスの給付制限は中止するよう強く求めて反対する」などがありました。

後期高齢者医療

歳入歳出 13億9,996万円

【保険料軽減の特例が見直されます】

審査では、所得割の軽減について、2割から軽減がなくなるかたは1,690名。元被扶養者の均等割の軽減について7割から5割となるかたは580名であることでした。

討論として、「高額療養費の上限額を引き上げたことによる窓口負担の増額もあり、高齢者の暮らしを圧迫することから反対する」などがありました。

上水道事業

収入 32億7,986万円
支出 38億1,448万円

【北部第二配水場の更新工事を実施】

審査では、北部第二配水場は通水から30年が経過し、修繕費が増えていることから2か年かけて更新工事を実施する。平成30年度は緊急遮断弁や配水ポンプの更新を行うことでした。

討論として、「分担金を資本的収入とすることは水道料金値上がりにつながる懸念があり反対する」などがありました。

※上水道事業の収入・支出は、収益的および資本的収入・支出の合計額です。

公共下水道事業

歳入歳出 50億6,029万円

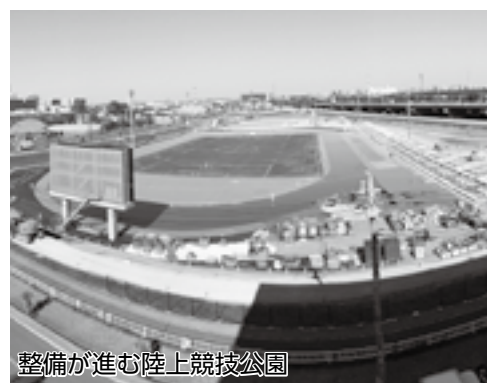
【下水道事業の災害時対策】

審査では、災害発生時における下水道事業の業務継続計画の策定に取り組んでおり、今年度は埼玉県及び県内各市町等と業界団体との間で、復旧支援協力に関する協定を締結したことでした。

討論として、「下水道事業の企業会計移行は独立採算性が原則となり、市民の負担増が想定されることから反対する」などがありました。



三郷 春まつり（におどり公園）



整備が進む陸上競技公園

約10ha増えることに伴い、草刈りや清掃などの維持管理費が増額になったためである。橋りょう架替事業では、北中学校そばの無名2018号橋を撤去し、橋りょうを新設する工事を2か年で行う予定であることでした。そのほか彦成川改修事業、側溝清掃事業、住宅耐震改修工事の促進などについて審議を行いました。

最終結論を出す本会議では、各常任委員長から審査報告がなされ、討論・採決の結果、賛成多数で可決されました。

討論として、「三郷インター南部南土地区画整理組合への補助金は、その必要性に疑問があり本予算には反対である」などがありました。



市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

逢澤圭一郎	鳴海和美	佐藤陸郎	佐々木修
野村浩之	柳瀬勝彦	佐藤裕之	加藤英泉
工藤智加子	稲葉春男	柴田吾一	渡邊雅人
深川智加	佐藤智仁	菊名裕	

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、4日間にわたり15人の議員が活発な論戦を展開しました。

※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

本年秋の市長選に向け 引き続きの市政運営は

議員

木津市長は「きらりとひかる田園都市みさと」人にも企業にも選ばれるまち」を標榜し11年余りに渡りまちづくりを進めてこられた。就任当初から比べると人口は約1万人の増加、予算規模は約155億円の増加となっている。これは様々な施策において着実に遂行された結果であり、今後安定した市政運営を望まれている方も多い。一方、多選自粛という論議の中では、一般論として首長の持つ強大な権限が特定の人物に固定化することにより様々な弊害が出てくるといった意見があることも認識されるべきことかと思う。しかし、現在本市においては、国や県が関わらなければならぬ大きな事業が山積みである。青写真の状況でどなたかにバトンタッチということではなく、実現に向けて今後4年間の舵取りをしつかり果たしていただきたい。引き続き市政運営を担うことについて伺う。

市長

平成18年11月の就任以来、



住みやすいまち三郷のまちづくり

市民感覚と経営感覚を大切に行政運営をしてきた。多選についてのご意見は重く受け止めながら、一朝一夕には築くことのできない人脈・経験・ネットワークという優位性を最大限に発揮できるように努めていく。今後もしっかりと舵を取っていきたい。

その他の質問

介護予防。

窓口向上委員会の設置と

「書かない窓口」サービス

議員

市民にとって行政との最初の接点は「窓口」である。三郷市も市民サービスの向上を目指し、案内表示の改善などが行われてきたが、これからのサービスのあり方に対し積極的な見直しをするた

めに、市民ニーズを掌握し検討を行う「窓口向上委員会」の設置が必要ではないか。また、先進事例として職員が聞き取りをしながら複数の必要書類を作成し、市民は署名だけで済む「書かない窓口」があるが、このような手法の採用について伺う。

企画総務部長

市民が快適に利用できる窓口をめざし、効率的な運営に関する会議の実施や、職員提案制度によるアイデアを活かした手法の導入などの取り組みについて、関連部署と連携しながら、利便性の向上を図っていく。また、「書かない窓口」などの先進事例の情報収集や調査研究についても、全庁的な情報保障やICT化と併せ、検討を行っていく。



市役所の諸証明交付窓口

高齢者等のペットに関する不安に 対応できる連携体制を

議員 単身高齢者や障がいのある

かたが、長期に入院や施設入所したり亡くなった場合、飼っている犬や猫などのペットの置き去りや遺棄が地域問題に発展することがある。逆にペットを残せないとの思いから入院や施設入所を断念し、体調が悪化したり亡くなってしまいうこともある。このような事態を未然に防ぐために、高齢者等に関わるケースワーカーや地域包括支援センターなどから情報を集め、市役所内関係課や動物愛護推進員



ペットの相談体制の構築は

などが連携して、対応ができるシステムの構築が必要であると考えられている。

福祉部長 ケースワークの中では、

ペットの処遇や行き先について対応はしていないが、動物愛護推進員と連携するクリーンライフ課などの関係機関へ相談をつなげられるよう、職員や地域福祉活動を行うかたに情報を提供していきたい。

環境安全部長 単身高齢者等との

接点が多い福祉部門と連携し、気軽にペットの相談ができる体制を構築していきたい。

その他の質問 災害対策。

郵送型血液検査の導入を

議員 市民の健康診査は健康増進、

医療費適正化のために重要であるが、受診率の引き上げが課題である。健診未受診者の健康状態を知る方策として、自宅で好きな時間に自分で微量の血液を採取し、検査センターに郵送する「郵送型血液検査」がある。簡単にできる検査ながら、14項目もの検査が行われ、動脈硬化、心筋梗塞、肝炎などのリスクが判定され、忙しくて

健診を受診しない人の健康状態のチェックに有効である。そこで、郵送型血液検査の導入について伺う。

市民生活部長 郵送型血液検査は、

自己採血キットとウェブサービスを組み合わせたものである。スマートフォンやパソコンを通じ平成27年4月にサービスが開始され、平成29年度は全国で42自治体が導入している。郵送型血液検査の実施については、若年層に一定の効果が見込まれることから、他の方法も含め導入について検討していく。

その他の質問 福祉問題。

日常生活から災害時まで 安心安全な公衆トイレ

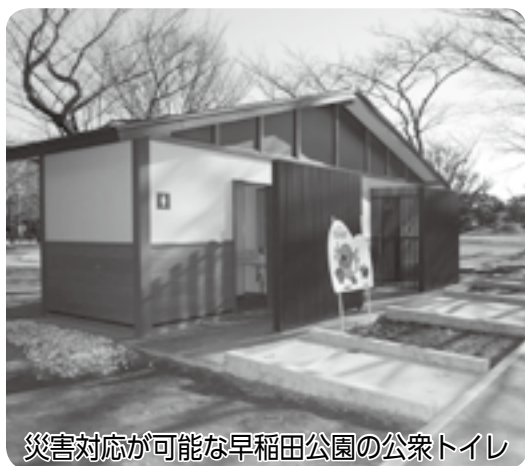
議員 日本の公衆トイレは世界一

と言われており、三郷市も市内各地に管理の行き届いた公衆トイレが設置されている。そこで、①三郷市における現状と設置までのプロセス、要望状況はどのようになっているのか。とくに要望の多い、三郷放水路の遊歩道沿いに設置は可能なのか。②災害時においては断水等により使用が困難になるが対応は。

まちづくり推進部長 ①公衆トイレ

の設置状況は、駅前・公園・緑道など計57か所である。近隣の町会・自治会と合意形成を図ったうえで設置している。要望としては新規の設置や水洗化への改修がある。放水路の遊歩道には、これまでも要望があり、桜の開花時期に合わせて、期間限定で簡易トイレを1基設置する予定である。②災害等には仮設トイレから直接下水道へ放流が可能となる「マンホールトイレ」が設置できる公園や、公共下水道の本管が使用不能となった場合に地下に一時的に貯められる「地下ピット」を設置している公園がある。

その他の質問 安全対策。



災害対応が可能な早稲田公園の公衆トイレ

アプリや手話を活用して 情報保障を

議員

①東京都品川区の成人式でUDトーク(音声認識ソフト)による自動翻訳)を利用して日本語・多言語対応が行われた。東京都23区の新成人の8人に1人が外国人という統計も出て、同時通訳者が入ったケースもあったようである。三郷市においても近い将来、こうした対応が必要になってくるのではないかと。

②手話に対する理解を深め、広く普及させるために「三郷市こころつながる手話言語条例」を定めているが、実際の効果や成果はいかがか。

企画総務部長

①タブレット端末等を利用したアプリケーションの活用については、本市においても実



議会傍聴での手話通訳

験的に使用し、その効果について現在検証を行っている。今後、全庁的なICT化も含め、窓口サービスの向上について検討していく。

福祉部長

②市では独自の試験により、合格者を手話通訳者として派遣する事業を展開している。また、手話に初めて触れるかたを対象とした手話奉仕員養成講座は条例制定の影響もあり、参加者が増加した。今後も手話を使用しやすい環境の整備に努めていく。

その他の質問

ネットトラブル問題についてなど。

都市計画税の

不公平感の解消を

議員

市街化調整区域には都市計画税の課税のない様々な建物がある。プレハブ造りの違反建築が数多くあり、これが区画整理事業の妨げにもなっている。近年では産業立地ゾーンによる開発が行われ、建設された建物は超大型物件で高収入にもかかわらず都市計画税の課税がない。区画整理事業の手法をとらず、産業立地ゾーンとして開発を続けられ、この不公平感には三郷の将来に必ずや禍根を残すことになる。八

潮市においては小手先の手法を取らず、しっかりと区画整理事業が行われた結果、固定資産税評価額平均が三郷市を上回った。都市計画税の課税のない産業立地ゾーンの開発はやめて、緑と公園と潤いのある区画整理事業として行うべきと考えるが税担当の立場からはどうか。

財務部長

都市計画税は、原則として市街化区域に所在する土地及び家屋に対して課税する市町村の目的税であり、使い道も市街化区域内の道路や公園、下水道整備などに限定されている。もし仮に市街化調整区域に課税した場合は、あくまで概算ではあるが、約1億3700万円の税収増となる。

その他の質問

道路問題など。

子育てに向く街ランキング

上位の三郷市

議員

ある雑誌により「出産・子育てに向く街ランキング」で県内10位と評価された本市の子育て施策について、小児科や待機児童対策の状況は。

市民生活部長

小児科の夜間診療は19時までが5件、20時までが1件である。また、土曜日診療を行っ



しらゆり病児保育室

ている医療機関は20件、日祝日診療が1件である。平成30年度は月曜日から土曜日の19時から21時まで、市内当番医療機関で小児時間外診療体制を整備している。また、365日24時間体制で#71119にて救急電話相談があり、利用周知を図っている。

子ども未来部長

病児・病後児保育事業は、本年度は1月までに病児保育119件、病後児保育143件の利用があり、みさとしらゆり保育園で実施している。また、平成30年度は待機児童解消策として、既存の幼稚園の認定こども園移行に伴う園舎増改修への補助、既存の認定こども園や認可保育園の園舎増築や私立認可保育所の新設等整備支援により、子どもの受入枠が231名分増加する見込みである。

その他の質問

まちづくり政策。

教職員の 多忙化対策について

議員 文部科学省の調査によれば、

時間外勤務による過労死ラインを
超える教員の割合は小学校で33・
5%、中学校では57・6%である。
子どもが人間的に成長・発達する
には、教職員が心身ともに健康で、
やりがいを持って働く労働環境・
教育環境づくりが求められている。
今年から時間外労働の把握を行い、
ストレスチェックについての実施
状況を調査している。今後、中央
教育審議会が示した「中間まとめ」
にあるように教職員の業務整理・
削減に向けた具体的な動きが開始



南中学校の授業の様子

される。そこで当市の対応は。さ
らに、多忙化の対策として、教員
の授業コマ数を減らし、35人学級
を実施することが必要不可欠と考
えるが、教育長の見解は。

教育長 本市では、出退勤記録簿

を導入することで教員の意識改革
を図るとともに、校長会と連携し、
業務改善に関する対応策を協議
し、既に新たな取り組みを始めて
いる。まずは負担軽減が可能な業
務等を洗い出し、今までの業務や
組織を見直しすることも必要であ
ると考えている。

その他の質問 国民健康保険制度

など。

学校教育に業務委託は すぐわないのでは

議員 ①学校司書について近隣市

町村の状況や費用対効果を鑑み、
業務委託は取りやめ直接雇用にし
てはどうか。②三郷市の給食費は
県内でもトップクラスの安さで、
長年値上げがなく据え置かれてい
る。学校給食費の概要や欠食時の
取り扱い、平成29年度に中学校で
3回おかずがない日があったが、
その原因と対応等について伺う。

③先生の仕事を軽減するため給食
費の集金を市へ移管する公会計化
は、収納率ダウンはないという研
究結果が出ている。未納を把握す
ることにより子どもへの貧困のシグ
ナルと捉え福祉との連携を図るこ
とが可能になるのではないか。

学校教育部長 ①業務委託するこ

とで専門性の高い企業のノウハウ
や組織力などを活用し、レファレ
ンスの充実が図られている。②給
食費は、185日分の費用を保護
者が負担するまかない材料費と市
費で総合的に運営している。欠品
は食中毒などの事故防止のために
緊急措置したもので、学校へは欠
品理由等を周知した。③学校給食
費以外の集金も含め、各学校の状
況をみながら徴収方法について研
究する。

その他の質問 安全管理。

高齢者の居場所づくり 事業について

議員 高齢者が介護予防に対する

取り組みや地域のボランティア活
動、世代間交流など様々な地域活
動のために気軽に集える「居場所
づくり事業」を推進する必要性を

市としてどう捉えているか。「居
場所づくり事業」に関しては、厚
生労働省の示している指針である
「人口1万人に対して10か所の通
いの場を」というものがある。こ
れに対して現在三郷市では、前述
した居場所に該当する地区サロン
が28か所とまだまだ厚生労働省の
指針に届いていない状態であるが
今後の対策は。

福祉部長 第7期三郷市高齢者保

健福祉計画・介護保険事業計画に
おける地域介護予防支援事業のな
かで、地域の地区サロンの活動や
ボランティアの育成について支援
を行うこととしている。人口14万
人の本市で1万人に10か所とす
ると140か所となるが、本市の地
域特性などを見極めながら参加者
数をふまえた整備について検討し
ていきたい。

その他の質問 公共図書館問題な

ど。



スマートインターチェンジ 周辺の安全対策を

議員 (仮称)三郷流山橋及び三郷

料金所スマートICフル化の整備について1月に全員協議会が開催された。スマートICの大型車対応化とフル化により利便性は高くなるが、県道三郷松伏線は大型トラックなどの交通量が激しく、道路沿いに住むかたからは振動や騒音に困っているという声を聞く。このような中、(仮称)三郷流山橋を含む都市軸道路が未整備の状態で大規模化が先行運用されれば、周辺道路の交通環境や周辺住民の市民生活への影響が、懸念されるが影響



と安全対策は。

市長 新橋の有料道路事業とあわせてスマートICが供用されることで、企業誘致が促進され地域の活性化、市内交通の分散による渋滞緩和が期待される。平成30年度予算における最重要事業と位置づけ、地域のかたの安全性確保に努めつつ事業を推進していく。

企画総務部長 平成29年5月に、スマートIC周辺の住民及び地元町会長等を対象に大型化事業の趣旨及び内容に関する説明会を開催し、安全対策に関する要望もお聞きしている。要望をふまえ、歩行者等が安全に通行できるように歩道整備を行うなど、周辺道路の安全性を十分に確保できるよう対策を講じていく。

その他の質問 教育問題など。

自衛隊の産業フェスタ 出展は中止すべきでは

議員 昨年12月議会では、自衛隊の

募集に関する事務は法定受託事務であり、市ではこのほか広報みさとに掲載等を行っているが答弁があった。自衛隊問題は政党及び個人的な見解も様々である。憲法に「自

衛隊」という文言を入れるか否か意見が分かれ、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名(300万人署名)」の活動も行われている。自衛隊本来の任務は明らかであり多くの市民が参加する産業フェスタに出展し、子どもたちまで巻き込むことがあつてはならない。来年度から中止すべきではないか。

企画総務部長 自衛隊の「災害派遣」などの重要な活動状況を知っていたため、広報効果も高い。近隣の草加市、越谷市、吉川市が行っている市民祭り等へも出展しており、状況等を把握しながら引き続き協力していきたい。

その他の質問 平和問題など。

公共工事に伴う 遵守事項について

議員 今年度契約した下水道工事が完了して

おらず当初予算12億5000万円中、約8割の工事契約が不履行になっており過去10年以上に渡り続いている。思慮しなければならぬ問題ではないか。これまで疑問を持ち改善しようとする人がいなかったことは問題であり、根幹

を考え直す必要を強く感じる。この状態を是正するため、市として人事考課制度や事務事業評価がツールとしてあるはずである。契約に伴う遵守事項を事務事業評価にのせるよう関連各課に指導できないか。

市長 下水道工事を含む公共工事の執行については、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」などの関係法令に基づき、適切に執行することが必要である。契約遵守事項が事務事業評価になじむかどうかは議論のあるところと考える。

建設部長 下水道工事については、「土木工事標準積算基準書」等により工事期間を設定している。平成29年度の工事発注は国庫補助事業が例年に比べ大幅に増額され、関係機関との調整等から工期が繰り越したとなった。今後、適正な工程管理に努めていく。

その他の質問 税金。





早稲田地区の交差点「音響式信号機」

交通環境のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進を

議員 三郷市交通安全計画の中には、交通環境のバリアフリー化の

推進の項目がある。現在、市内のバリアフリー対応型信号機の設置数と今後の計画については、どのようになっているのか。また、国では公共施設等の適正管理の推進のため、地方財政措置の拡充がなされ、新規事業でユニバーサルデザイン化事業が進められている。三郷市でも医療機関や学校、公共施設、駅

◆議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページ又は、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお3月定例会の会議録は5月下旬に更新する予定です。
 ▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますので、ご覧ください。
 ※ホームページで公開している会議録検索システムをリニューアルしました。
 新URL <http://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索

などの周辺については、市民からも多い場所である。今後の三郷市交通安全計画に、この内容を追加してはどうか。

環境安全部長 市内には音響式などのバリアフリー対応型信号機が

7か所設置されている。今後の設置計画については、関係機関と連携を図り推進を要請していく。また、すべてのかたに利用しやすい交通環境のユニバーサルデザイン化の重要性も認識している。次回交通安全計画策定の際には県の計画内容を参考に取り入れていく。

その他の質問 医療問題など。

議会あれこれ

全員協議会を開催しました

1月16日（仮称）三郷流山橋及び三郷料金所スマートインターチェンジフル化について報告がありました。

特別委員会を開催しました

1月22日、三郷インターチェンジ周辺対策特別委員会：「三郷インター南部南土地画整理事業第1回事業計画変更案」について報告がありました。

視察研修を行いました

○「21世紀クラブ及び日本維新の会」：1月31日に徳島県徳島市の「陸上競技場の管理運営」、2月1日に香川県高松市の「高齢者の居場所づくり事業」、2日に愛媛県新居浜市の「子ども読書活動推進計画」について。

○「公明党」：2月5日に佐賀県佐賀市の「福祉総合窓口システム」、6日に伊万里市の「伊万里市民図書館」、7日に武雄市の「武雄市図書館」について。

○「政志会」：2月8日に熊本県人吉市の「企業誘致の取り組み」、9日に宮崎県宮崎市の「企業誘致の取り組み」について。

他市からの行政視察がありました

○「自主防災組織と消防団サポーター事業」について：1月23日に滋賀県栗東市議会総務常任委員会。

○「えきちか子育て・保育事業」について：1月25日に北海道恵庭市議会自由民主党議員団清和会。

3月定例会で議会に関する議案を可決しました（議員提案）

議案第36号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
内容 本市の一般職及び特別職の給与改定に鑑み、市議会議員の期末手当の支給割合を0.1か月分増額

議案第37号 三郷市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例
内容 議会における会派の政務活動とあわせて、議員個人の政務活動の充実に資するため、政務活動費の額を1人につき月額1万円を増額

3月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○ = 賛成 × = 反対

号	件名	結果	21世紀	政志会	公明党	共産党	市民派	維新
1	三郷市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○
2	三郷市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○	○
3	三郷市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○
4	工事請負変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○
5	三郷市水道事業の設置等に関する条例及び三郷市監査委員条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
6	三郷市個人情報保護条例及び三郷市情報公開条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
7	市長及び副市長の給与等に関する条例及び三郷市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	×
8	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×
9	三郷市国民健康保険財政調整基金条例	可決	○	○	○	○	○	○
10	三郷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
11	三郷市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○
12	三郷市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
13	三郷市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
14	三郷市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
15	三郷市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営、指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
16	三郷市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
17	三郷市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
18	三郷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
19	三郷市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
20	三郷市ペット霊園の設置の許可等に関する条例及び三郷市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
21	三郷市地区計画区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
22	三郷市消防事務に係る手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
23	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	可決	○	○	○	○	○	○
24	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	可決	○	○	○	○	○	○
25	平成29年度三郷市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	×	○	○
26	平成29年度三郷市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○
27	平成29年度三郷市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○
28	平成30年度三郷市一般会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
29	平成30年度三郷市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
30	平成30年度三郷市公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
31	平成30年度三郷市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
32	平成30年度三郷市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
33	平成30年度三郷市上水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	○	○
34	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
35	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
36	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	×
37	三郷市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×
38	バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
39	洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
40	核兵器禁止条約の批准を求める意見書	否決	×	×	×	○	○	×
41	生活保護基準の引き下げに反対する意見書	否決	×	×	×	○	○	×
42	「無期雇用」転換逃れの雇い止めの防止対策を求める意見書	否決	×	×	×	○	○	×

※このほか報告4件が提出されました。

国・政府に要望

3月定例会では2件の意見書を提出しました

議案第38号 バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める意見書

- 1 地域の面的・一体的なバリアフリー化を進めるため、バリアフリー法の基本構想制度の見直しも含めた新たな仕組みについて検討すること。
- 2 公共交通事業者がハード・ソフト一体的な取り組みを計画的に進める枠組み
- 3 バリアフリー施策を進める際には、高齢者、障がい者等の意見を聞くような仕組みを検討すること。併せて、バリアフリーの促進に関する国民の理解を深めるとともに、その協力を求めるよう国として教育活動、広報活動等に努めること。
- 4 バリアフリー法改正後速やかな施行を行う観点から、改正内容について、十分に周知を行うこと。



健康福祉会館のスロープ

「意見書」とは…

公益にかかわることについて、議会在意思決定機関として意見をまとめ、議決し、国等の関係機関へ「意見書」として要望などをすることです。



議案第39号 洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書

- 1 河道掘削を含む「中小河川緊急治水対策プロジェクト」については、平成29年度補正予算で約1300億円が盛り込まれているが、次年度以降についても、地方自治体の要望を踏まえ、十分な予算を確保すること。
- 2 「中小河川緊急対策プロジェクト」では、河道掘削の対策箇所を「重要水防区間のうち、近年、洪水により被災した履歴があり、再



土手から望む江戸川

- 3 今回の「中小河川緊急対策プロジェクト」は、概ね3か年の時限的措置であるが、「防災・安全交付金」を活用した中小河川の河道掘削については、恒久的な制度となるよう検討すること。
- 3 度の氾濫により多数の家屋や重要な施設の浸水被害が想定される区間」と限定しているが、今後は、中小河川を管理する地方自治体により柔軟な対応ができるよう、対策箇所の拡大も含め検討すること。また、国直轄河川の河道掘削についても、周辺自治体の要望を踏まえ、必要な対策を行うこと。

人事案件

《同意しました》

○固定資産評価審査委員会委員

- ・鈴木 昌夫氏 (彦江一丁目)
- ・掛川 敏夫氏 (茂田井)

会派名(人数)	所属議員名
21世紀クラブ(8)	岡庭 明、市川 文雄、菊名 裕、野村 徹、逢澤 圭一郎、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、柴田 吾一
政志会(5)	篠田 進、武居 弘治、佐藤 裕之、佐々木 修、野村 浩之
公明党(5)	中野 照夫 (議長)、酒巻 宗一、鈴木 深太郎、佐藤 睦郎、鳴海 和美
日本共産党(4)	稲葉 春男、工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
市民派クラブ(1)	村上 香代子
日本維新の会(1)	渡邊 雅人

※議長は採決には加わっていません。



わたしも ひとこと

自動車運転のモラル

会社員 60代 中央在住

昨今、自動車技術の発展により、少しアクセルを踏むだけでスピードが出る車が多くなった。

それと共に、制限速度を超えた物凄いスピードで走っている車をよく見かける。

道路脇には歩行者や自転車がいる中で、それらに注意を払わない。道路脇を歩いている歩行者にとって、スピードを出して走ってくる車は怖くて仕方がない。いつ、こちらに突っ込んでくるかもわからないとさえ思える。

事故が起きてからでは遅いし、道路は車だけのものではない。車は便利で大変いい物であるが、是非とも、モラルやルールを守った上で、安全運転を心掛けてほしいものである。

シルバー元気塾に参加して

主婦 80代 高州在住

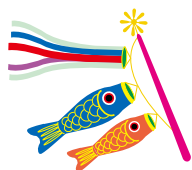
元気塾に参加させてもらってもう10年以上になる。手を伸ばすと隣の人にくっつきそうになるくらい参加者でいっぱいだが、どこの会場もそうらしいから、健康志向が強いのだろう。隔週だけど、みんなで体を動かすのは楽しい。顔見知りも増えておしゃべりも弾む。サポーターのかたの指導も的確で親切だ。

脳トレと体力増強についていくのは大変だけど老骨に鞭打って頑張っている。この歳で健康でいられるのも、元気塾のおかげだと思う。

できれば、毎週になればいいなと思う。



交通防犯フェアを開催



議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法です。

本会議や委員会では、市民の皆様の生活に直接関わる重要な問題について、活発な議論が交わされますので、市政への理解を深めていただくためにも、市議会の傍聴をしてみませんか。

傍聴日時：議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。

傍聴場所：市役所の7階にあります。

※議会傍聴で手話通訳または要約筆記を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局までお申し込みください。

(☎048-930-7768)

●次回の定例会は6月に開かれます。
10時から開会となります。

【平成30年6月定例会の予定表】

※正式には、市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

月 日	曜日	会議別
6月1日	金	本会議
6月5日	火	
6月6日	水	委員会
6月11日	月	本会議 (一般質問など)
6月12日	火	
6月13日	水	
6月14日	木	

みさと市議会だより(第173号)
発行 三郷市議会
編集 議会だより編集委員会
〒341-8501
埼玉県三郷市花和田648-1
TEL 048-930-7768(直通)
FAX 048-953-1358
URL: <http://www.city.misato.lg.jp>

